

第1回中津川市図書館機能検討委員会 主な発言内容（要約）

日時：令和元年7月4日（木）15：00～16：00

場所：中津川市役所 本庁舎4階 大会議室

■これまでの経緯について

- ・デジタル化戦略も踏まえた図書館ができることを期待する。
- ・財政的な問題や、スケジュールもあると思うが、優先事案として一日も早く開館していただくことを希望する。
- ・図書館が市民に期待される施設として、複合ビルの中に機能を入れたいという市の考えを、大変嬉しく思う。

■中津川市立図書館の現状と課題

- ・誰もが、遠いところの人も、一日中図書館で遊べるくらい魅力のある図書館にしないといけない。
- ・誰もが集まって来られるような図書館にするには、どういう風に考えていったいいのか、面積の部分も含めて検討していきたい。
- ・何が一番問題かといったらやはり駐車場のスペース。新町の場所で駐車場の確保ができるのか。

■中津川市リニアを活用したまちづくり構想（案）について

拠点施設「（仮称）まちの駅なかつがわ」の概要

- ・複合施設というと、新町の場所ではちょっと手狭な感じがする。「図書館」というものを全面的に出して、他の機能が入るような建物になるといい。
- ・リニアが来るまちというからには、それなりの機能を持った図書館でないと、8万人の市として恥ずかしい。

■意見交換

- ・複合施設で人が集まって活発に使ってもらえるのかという心配がある。
- ・図書館の移転と中心市街地の活性化と、この二つの接点をどう見出すか。
- ・様々な心配があるが、そうした問題を取り込みながら、図書館建設へ向かわなければいけない。
- ・「図書館」を建設するのではなくて、中津川の「教育水準を上げていく」「教育力を向上させていく」、あるいは「子育て支援」を主体的に行っていく、といった意味合いを持っていくとよい。
- ・デジタル化戦略などで、面積の少ない部分がある程度補っていいのではないか。
- ・市民との協働による自主資金の確保も考えていくべき。
- ・中津川の中山道の中に設置されるということでいえば、これから50年100年対応できる施設を目指さなければならない。